

シフトポジションインジケータ
SHIFT POSITION INDICATOR SPI-cub110
【Super CUB 110 スーパーカブ110】

取扱説明書

セット内容

- SPI-110mini本体 ●PG-110センサー（速度信号変換機）
- 専用メインハーネス ●PG-110センサー用アルミステー（フロントフォーク用）
- PG-110センサー用アルミステー用台座 ●チェック用LED
- マグネットx8個 ●マグネット用ドーナツ型両面テープx1シート（8個分）
- 各種両面テープ ●平型コード止めx2 ●タイラップ（長、短）x各5本

注意事項

- 本説明書はSuper cub110 に対応する内容で記載致しております。車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

取り付け方法

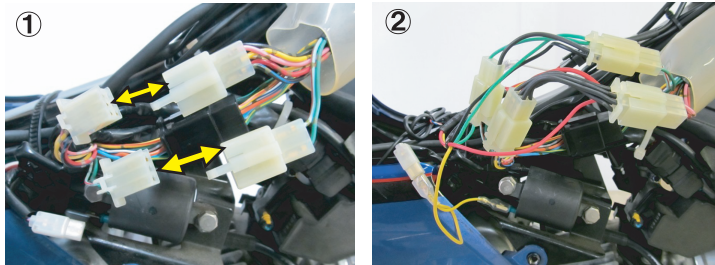
※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

【取り付け作業の準備】

作業しやすい様に、ヘッドライト周りのカバー類、レッグシールドを取り外します。
※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

【専用ハーネスの取り付け】

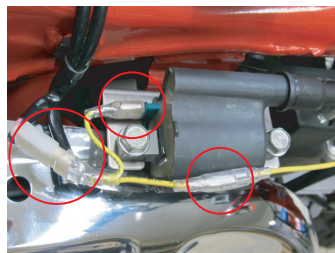
- ①下の画像を参考にレッグシールド内にある白い3P、6Pカプラーを外します。
- ②車体側ハーネスへ本製品の専用メインハーネスを接続します。



【IGコイルへの専用ハーネスの取り付け】

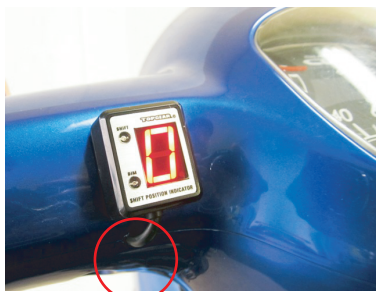
- ①IGコイルの緑色端子側のカプラー（青/桃）線を抜きます。
- ②黄色線の平端子をIGコイルの緑側と車体側のカプラー（青/桃）線の間割り込ませる形で接続します。

※右の画像はモンキーを使用しております。



【SPI本体の取り付け】

下の画像を参考にSPI本体をハンドルカバーに両面テープを使って貼り付けます。
※後ほどシフトポジションの設定を行いますので仮付けにしてください。



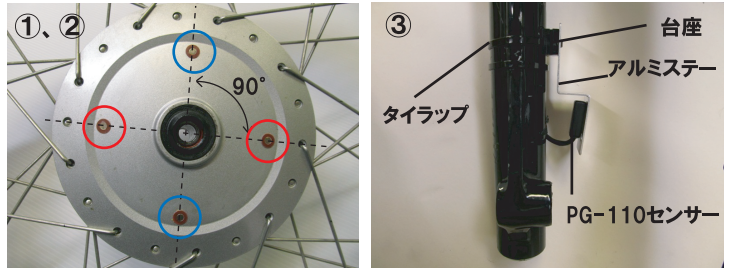
- ①左画像の赤丸印の部分に配線が通る位の穴を開けて配線を通します。
- ②配線はフレーム伝いに専用メインハーネスまで取り回します。
- ③専用メインハーネスの黒5Pカプラーへ接続してください。
※SPI本体の装着位置はお好みでメーター周りの見やすい位置に貼り付けてください。

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

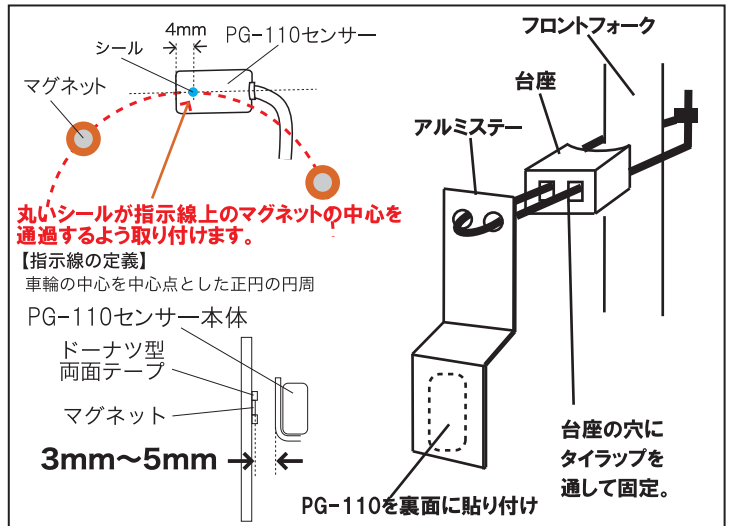
下の画像を参考に左側フロントホイールにマグネットを4箇所貼り付けます。

- ①ドーナツ型のガイドテープを90° 間隔で貼ります。
 - ②マグネットを市販の金属用ボンドを使って貼り付けます。
- ※マグネットは必ずホイール中心部に対し90° になるように等間隔に配置します。ハブのスポーク穴を目安にすると均等に貼り付けできます。
※下の画像の赤丸で示したマグネットはスポーク穴の中心と同軸上に、青丸で示したマグネットはスポーク穴と穴の間を目安に貼り付けてください。

コシ製G17ボンド推奨

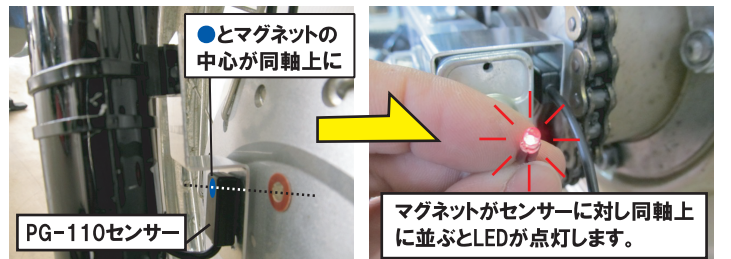


- ③付属品のPG-110センサー用アルミステーと台座を右上の画像のようにフロントフォーク右ボトムケースにタイラップを使って取り付けます。
※下の図を参考にセンサー受信部（青丸印）とマグネット位置を調整してください。
- ④PG-110の配線は平型コード止めやタイラップを使って、フロントフォークからフレーム伝いにIGコイル付近の専用メインハーネスまで通します。
※配線に無理なストレスが加わらないように取り回しに注意してください。
- ⑤PG-110センサーの黒3Pカプラーを専用メインハーネスの黒3Pカプラーへ接続してください。



【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】 詳細裏面参照

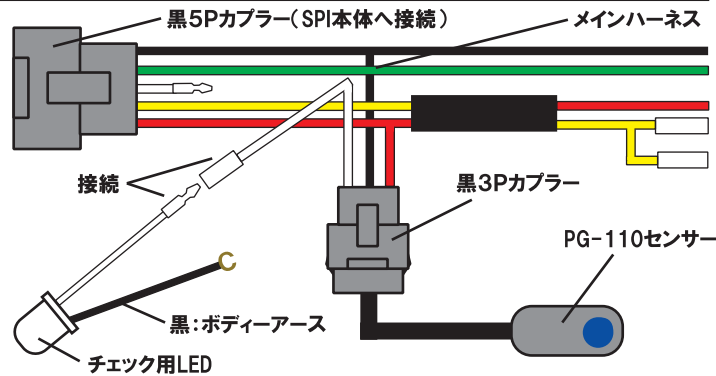
- ①メインハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線をメインハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線（青または黒）をボディアースに接続します。
- ③キーONにし、ホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消灯する事をすべてのマグネットにおいて確認してください。4箇所のマグネット全て点灯していれば正常です。



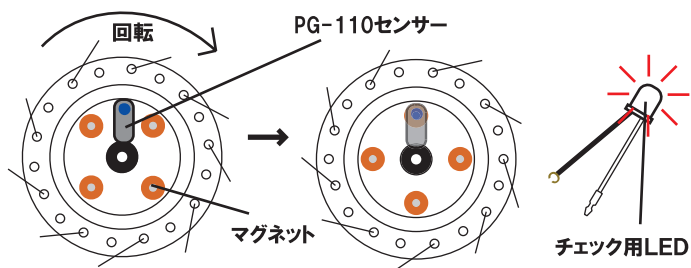
※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。
※チェック終了後はLEDを外し、白線のギボシ端子を接続してください。
※チェック用LEDは12Vの電圧で点灯致しますので、多目的にご利用頂けます。

- 各ギアポジションの登録及びシフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細は裏面にて解説しております。
- 登録終了後、ハンドルカバーやレッグシールドなど外した部品を取り付けして完了となります。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



フロントホイールハブを回転させ、PG-110センサーとマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。

※12vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

【エラー表示について】

Sの表示

スピード信号が取れていない場合、S表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPIの白線とメインハーネスの白線、PG-110の接続を確認してください。
PG-110の電源が取れていない場合にも「S」表示が出ます。

Rの表示

エンジン回転信号が取れていない場合、R表示点滅+ドット点滅が表示されます。
SPI、メインハーネスの黄色線が正しく接続されていません。

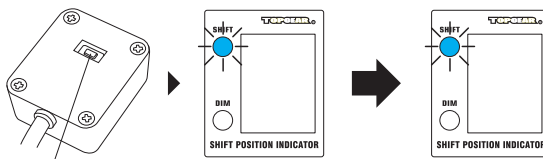
Fの表示

スピード信号とエンジン回転信号の両方が取れていない場合、F表示点滅+ドット点滅が表示されます。
上記の「S」、「R」表示の問題点を確認してください。

シフトアップインジケータ、ギアポジションの設定方法

シフトアップインジケータの設定

実際の走行時において、設定値より回転が上ると青色LEDが点灯します。



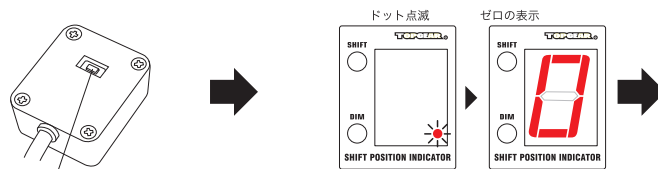
ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、青色LEDが点滅するまで本体裏のボタンを長押しします。

設定したい回転数まで上げて戻すと青色LEDが高速点滅し、セット完了です。
※設定の変更は何回でも可能です。

ギアポジションの設定

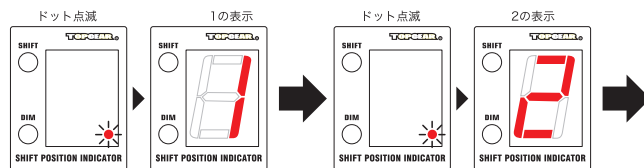
本製品はスーパーカブ110のノーマルミッション及びノーマルスプロケ、本説明書の指示通りのマグネットの配置や個数で取り付けられた場合に対するギアポジションの設定済みですので基本的にギアポジションの設定は不要ですが、登録済みのプログラムでギアポジションが正しく表示されない場合以下の方法でギアポジションの設定（登録）を行ってください。
※スプロケットを変更している場合は必ず設定を行ってください。

- ※ギアポジションの設定はセンタースタンド/レーシングスタンドをかけ、十分に安全を確認してから2000~3000rpmの安定した回転数で行ってください。
- ※実際の走行で設定される場合も十分注意して行ってください。
- ※「ドット点滅」から「数字の表示」に切り替わるのに若干時間がかかります。



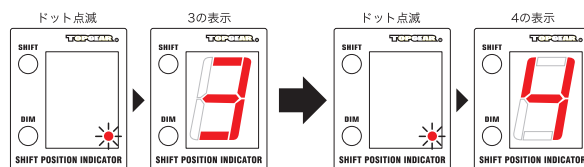
ギアがニュートラルであることを確認しエンジンを始動後、本体裏のボタンを3回押します。

「ドット点滅」→「ゼロの表示(ニュートラル)」になったらギアを1速に入れます。



「ドット点滅」→「1の表示(1速)」になったらギアを2速に入れます。

「ドット点滅」→「2の表示(2速)」になったらギアを3速に入れます。



「ドット点滅」→「3の表示(3速)」になったらギアを4速に入れます。

「ドット点滅」→「4の表示(4速)」になったらギアを3速に入れます。

※スーパーカブ110は4速車ですので、「4」の表示が出たら3速にシフトダウンして「ドット点滅」→「3」の表示が出たら完了です。